

平成19年度「全国学力・学習状況調査」における春日井市全体の結果について

すべての調査において、全国や県の結果とほぼ同様の傾向が見られました。

小学校

<国語>

「知識」においては、漢字の書きや接続語・指示語などの語句、目的に応じた文章の書き換え、説明文で段落の内容をとらえることなどは、大変よくできている。

その反面、聞き手に分かりやすい話し方をすることに課題がある。

「活用」においては、決められた字数で自分の考えを書くことは、おおむねできているが、文章から事実とその理由を的確に読み取ることに課題がある。

<算数>

「知識」においては、整数・小数・分数の四則計算、三角形や平行四辺形の面積を求めること、性質を理解することなどは、大変よくできている。

「活用」においては、棒グラフから変化の様子を読み取ること、おおむねできているが、根拠を明確にして説明したり、与えられた条件を基に比較して考えたりすることに課題がある。

中学校

<国語>

「知識」においては、漢字、語句、敬語、古文、目的に応じた話し方などは、大変よくできている。その反面、手紙の後付を知らない生徒が多い。

「活用」においては、読み取ったことを生かして朗読したり、複数の資料から情報を選び取って自分の考えを明確に書くことに課題がある。

<数学>

「知識」においては、正の数と負の数の四則計算、一元一次方程式を解くこと、基本的な図形の性質の理解などは、おおむねできている。

「活用」においては、グラフから情報を読み取ることや、情報を的確に処理することなどは、おおむねできているが、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

生活面(小学校・中学校)

「朝食」「起床」「持ち物」など基本的な生活習慣はよく身につけている。

最後までやり遂げた経験や将来への希望など肯定的な回答が高く、自己肯定感を持っている児童生徒が多い。

「学校は楽しい」「好きな授業がある」「今住んでいる地域が好き」と回答した児童生徒が多く、学校や地域を肯定的にとらえている。

今後の取り組み(小学校・中学校)

分かる授業を構築し、漢字・語句についての理解を深め、適切な語句を選択したり、それを文中で効果的に使ったりするなど、基礎的な言語事項に関する指導を継続する。

友達との話し合いや意見交換をする機会を増やし、話す力・聞く力の向上に努めるようにする。

きめ細かな指導を充実させ、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し合ったりするなど、数学的な思考力を高める指導を継続する。